



ふるふるふる Mibu だより

発行：壬生町教育委員会事務局生涯学習課

〒321-0292 壬生町通町 12-22
TEL 0282-81-1873 / FAX 0282-82-0935
E-mail: gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

中学生・青少年による地域活動にご理解とご協力をお願いします！

「中学生・青少年=次代の担い手」という視点

中学生・青少年を「お手伝いしてくれる人」という視点ではなく「将来、ともに手をとりあってまちづくりに励む若きパートナー」という視点で接していただくと幸いです。

自治会や育成会でも活躍の機会を!!

例年、自治会の奉仕活動やお祭り、育成会行事の小学生支援などでも中学生が活躍しています。地域活動に中高生を誘ってみてください。

「地域活動への参加」記録カード

中学生全員に「地域活動への参加」記録カードを町教育委員会より配付しています。記録カードには保護者や主催者等地域の大人の方から印（またはサイン）をいただく欄があります。

活動終了後、励ましの言葉とともに押印（またはサイン）していただき、がんばった中学生を勇気づけてください。皆様のあたたかい言葉かけで、中学生たちは自己有用感を育てていきます。

中学生・青少年による地域活動のねらい & メリット

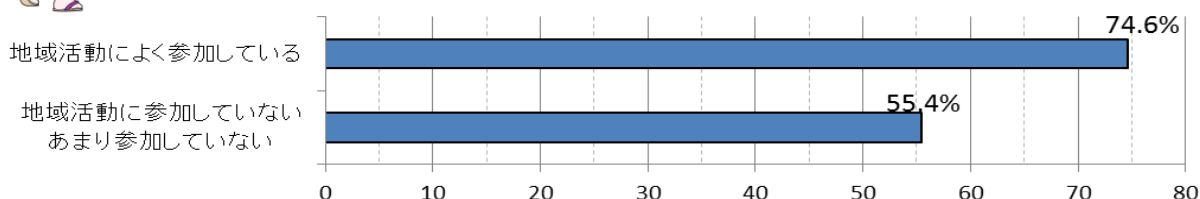
この取り組みは、中学生及び青少年が地域社会を基盤とした多様な体験や出会いをとおして、自己肯定感や自己有用感、郷土愛を育てることをねらいとしています。

【壬生町社会教育委員の会議】が2013年9月に行った地域活動に関する調査で、積極的に地域活動に参加している生徒は「自分は誰かの役に立つことができる」と自己評価している割合が高いことがわかりました。ともに活動する大人の方との心地よいふれあいをとおして、自己有用感を育てていくことができるのが、地域活動のよさの一つといえます。



地域活動への参加状況と自己有用感との関係

■「誰かのために役立つことができると思う」と回答した生徒の割合



「中学生および青少年による地域活動」には愛称があります!!

「人と人とのふれあいをとoshite多くの人が笑顔になってほしい」、「笑顔があふれるあたたかい壬生町であってほしい」、「壬生町の中で一人一人がきらきら輝いてほしい」などの願いを込め、平成26年度に開催した「地域活動に励んだ中学生および青少年の交流会」の中で愛称を『ふ.る.る Mibu』と決定しました。地域活動に対する思いがギュッと詰まった「ふれあい」「スマイル」「あふれる」の3つの言葉を選び、それぞれからOの1字ずつをとって『ふ.る.る Mibu』という愛称を付けました。

「ふ.る.る」には、町民の心があたたかい気持ちで満たされる「Full」、壬生町にたくさんの笑顔が降り注ぐ「降る」、壬生町をふるさととして愛してほしいなどの思いも込められています。また、中学生および青少年による地域活動が、人と人をつなぐ架け橋となれるよう虹をイメージしたロゴデザインにしました。



ロゴデザイン

令和元年度に開催した地域活動（一部）や参加者の声を紹介!!



ふるさとまつり翌朝清掃ボランティアスタッフ
中学生および青少年



【昨年度に参加した中学生や青少年の声】

- 地域の方々が、積極的に『町をきれいにしよう』という気持ちをもって取り組んでいる様子を見て、自分もそんな大人になりたいと思いました。
- 楽しいお祭りの後には、このような清掃活動など、大変なことがあることを改めて知りました。これからも積極的にボランティア活動に参加したいと思います。
- 壬生町の地域の皆様と一緒に清掃活動ができて楽しかった。協力して取り組む大切さを学びました。

ハートふる.る2days（ボランティアスクール）
中学生および青少年



【昨年度に参加した中学生や青少年の声】

- 私は、今回初めて「ハートふる.る2days 赤ちゃんとのふれあい交流体験」に参加して、とても楽しかったです。助産師の相田先生のお話を聞いて、私は今この瞬間を生きていることだけでとても幸せなことなのだと、いうことを改めて知ることができました。
- 先輩方と作ったパンケーキやお饅頭はとても美味しかったです。大変だったけど、班の人たちと協力してできたので素早く作ることができました。次回、このような機会があったらぜひ参加したいです。